

## 環境問題解決に向けて一石を投じる、インドのEV（電気自動車）事情

## メイド・イン・インド EV分野でインド企業の将来的な成長期待高まる

## ▶ 深刻な大気汚染解決に向け、EV普及策を推進

急速な経済発展に伴い、世界屈指の「大気汚染国」となってしまったインド。都市大気汚染度ランキングのワースト15都市のうち13都市がインドという状況。環境改善策の一つとして、インド政府はEV普及を促すような、インフラ整備も含めた政策を実行中。

## 大気汚染度ランキング（2021年）

対象：4116地域

順位	地名	位置	汚染度	評価	健康影響
1	ノイダ	インド／ニューデリーの南東	210	不健康	長時間または激しい屋外活動を中止（全員）
2	カシュガル	中国／新疆ウイグル自治区	206	不健康	
3	ブランドシャール	インド／デリーの南東	197	劣	心臓・肺疾患患者、高齢者および子供は、長時間または激しい屋外活動を減少
4	モラダバード	インド／デリーの東	197	劣	
5	メーラト	インド／デリーの北東	194	劣	
2453	東京	日本	28	良	通常の活動が可能
4116	イエービク	ノルウェー	3	良	

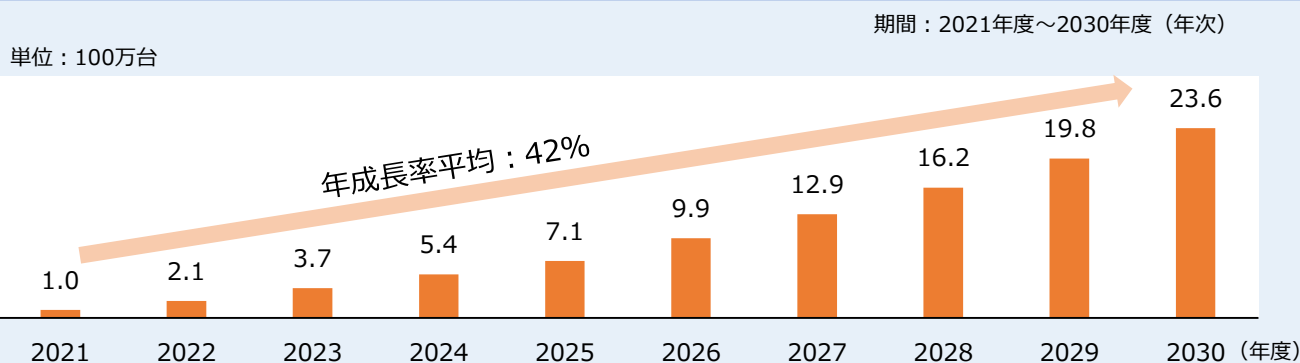
## インド政府の政策例

- ✓ 2030年までに乗用車の4割、二・三輪車の8割を電動化する数値目標の設定。
- ✓ 三輪タクシー（リキシャ）などの商用向けに傾斜した補助金などによる需要創出（対需要者）。また、自動車産業向けに、インドでの供給網構築を目的とした自動車・関連部品製造に対する補助金制度を創設（対生産者）。
- ✓ 商用EV充電スタンドの設置支援策（設備・機械費用の25%を補助等）。

## ▶ 環境意識の高まりや各種の政策効果で、インドのEV市場は拡大の見込み

インドでのEV販売台数は2030年には2,360万台に達すると予測され、自動車メーカーはもとより、部品やバッテリー、充電インフラ関連企業の成長が見込まれます。そのなかで、インド政府はメイク・イン・インド政策で、EV分野の製品を自国で生産したいと考えており、関連するインド国内企業の業績の拡大が見込まれ、今後の株価上昇が期待されます。

## インドのEV販売台数の推移（推計）



## ご留意事項

- 当資料は、情報の提供を目的として、パインブリッジ・インベストメンツが作成した参考資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありませんし、特定の有価証券の売買、ファンド、商品を勧誘、推奨するものではありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。当資料中の記載事項、数値、図表等は、当資料作成日時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。なお、当資料中のいかなる記載事項も、将来の投資機会または運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。



パインブリッジ・インベストメンツ株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第307号  
加入協会：一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会